

# 非破壊検査の最新技術学ぶ

## 福井県コンクリート診断士会・主催 第110回 研修会開く

め、熱心に聴講した。

今研修は、大阪・構造物非破壊診断交流会（ONDA）の50回目の記念開催に位置付け。全国的にも先進的な福井においても是非、この要望で実現。ONDAは、大阪大学大学院の鎌田敏郎教授のもとコンクリート構造物の非破壊検査を考える会として06年12月に発足。

コンサルや検査会社、大学者等の熱意と夢を持つ有志が集い、最新情報を発信している。冒頭、山川会長が挨拶。ONDAメンバーを講師陣に招き、日進月歩のコンクリート構造物の非破壊検査技術や、あまり広く知られていないコンクリートの劣化に関する最新技術の紹介に期待した。

## 県建設技術公社と大阪・構造物交流会が共催

福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）が主催する110回目の研修会は25日、福井市宝永3丁目の県国際交流会館で開催さ

れ。写真、会員はじめ行政や、県外からの積極的な参加者も含めた約180人が会場を埋



鎌田氏

大阪大学大学院 鎌田敏郎教授  
大阪・構造物非破壊診断交流会（ONDA）紹介と、同会研修会がちょうど50回目の節目を迎える記念開催を強調した



森氏

非破壊検査株式会社 森雅司執行取締役 こんなことが分かるよ、出来るよをテーマに 非破壊検査の必要性や基礎、最近の事情から、今後までを紹介



清水氏

神戸市立工業高等専門学校 清水俊彦准教授 かゆいところが手が届くロボット最前線 UVGで壁のぼりをし、無線型ドローンで打音検査などに挑戦



吉田氏

一般財団法人日本建築総合試験所 吉田夏樹室長代理 エトリンナイト遅延生成（DEF）のコンクリート劣化 DEFとASRを見分ける重要性を指摘



永山氏

一般財団法人日本建築総合試験所 永山勝常務理事 建築における中性化・鉄筋腐食 寿命の定義って？ほとんどの場合、所有者の経済的理由に左右される



葛目氏

株式会社国際建設技術研究所 葛目と宏代表取締役社長 PCは永久不滅？グラウト充填度検査 インパクトエコー法や電磁パルス法計測原理や特長等紹介



内田氏

富山県立大学 内田慎哉准教授 長寿命化計画に役立つ非破壊検査 壁面走行ロボット概要など 衝撃弾性波法を上手く使えば、様々に可能性が広がると強調